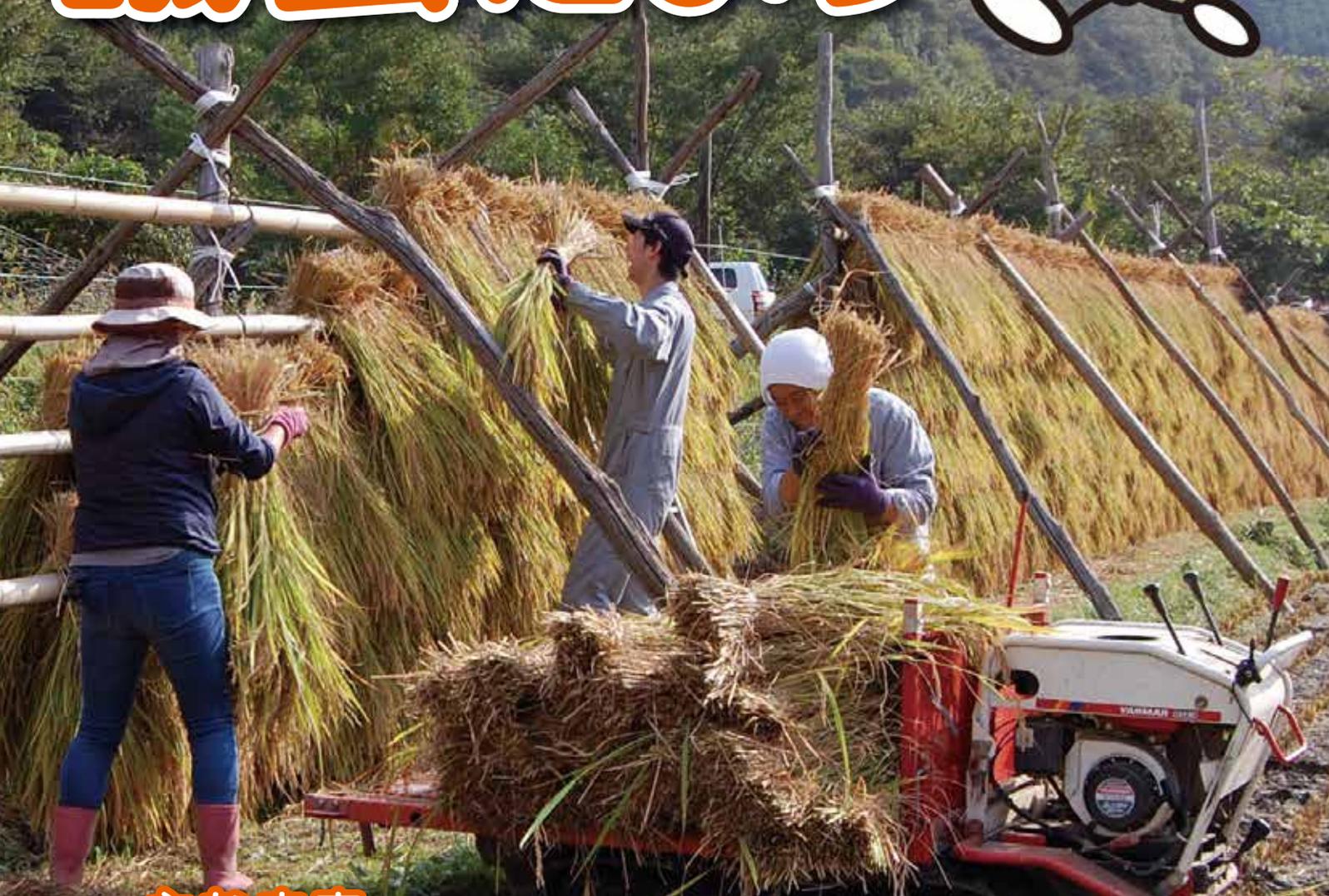


# おおつち 議会だより

No. 169

2022年11月7日発行  
発行 大槌町議会



## 主な内容

- 9月定例会の概要・・・・・・・・・・2~3
- 9月定例会 審議結果一覧・・・・4~5
- 決算特別委員会の内容・・・・・・・・6~7
- 一般質問の項目・・・・・・・・・・8
- 一般質問の内容・・・・・・・・・・9~14
- 委員会活動報告・・・・・・・・・・15

議長あいさつ

今期定例会は9月1日に開会し、14日間の日程で行われ、一般質問には6名の議員が登壇し、町政課題について議論を交わしました。

また、令和3年度各会計の決算審議については、議員全員による決算特別委員会において、活発な質疑と慎重な審議が行われたと感じております。

特に、(仮称)鎮魂の森整備事業を含めた震災伝承事業の今後のあり方につきまして、町当局、関係機関とともに検討を行い、大槌町の未来の子供たちに震災の記憶・教訓を伝えていきたいと思っております。

今後も町民の皆さまが安心して暮らすことができる大槌町とするため、議員一丸となり、町当局、関係機関とともに取り組んでまいります。



小松則明 議長

令和4年9月定例会の概要

◎条例の制定・改正  
▽福幸きらり商店街跡地多目的広場等設置条例：福幸きらり商店街跡地活用事業検討委員会が示した検討結果の報告の提案を踏まえ、短期的な取組を行うため条例を制定するもの。  
(全員賛成・原案可決)

議案

9月定例会議案ピックアップ

令和4年9月定例会は、9月1日から14日までの14日間の会期で開催されました。今期定例会には、第3期大槌町地域福祉推進計画の策定に係る報告、健全化判断比率の状況の報告、福幸きらり商店街跡地多目的広場等設置条例の制定、大槌町公共施設等総合管理基金条例の制定、大槌町議会の議員の議員報酬等に関する条例の一部を改正する条例、4年度の各会計の補正予算及び3年度の各会計の歳入歳出決算の認定など、報告6件、議案14件、認定6件が提案されました。  
一般質問には6議員が登壇し、町当局の姿勢や施策をいただきました。



多目的広場でグラウンドゴルフを楽しむ様子

議案のここがポイント！

令和4年6月定例会において、議会活性化特別委員会は、議員報酬額を増額することが適正であると調査報告しました。

それを受け、特別職報酬等審議会が開催され、審議会会長が報酬額の増額を平野町長へ答申しました。

当局はそれを受け、9月定例会への条例改正案を提案し、可決されたものです。

▽大槌町議会の議員報酬額等に関する条例の一部を改正する条例：大槌町議会の議員の議員報酬額は、平成18年に減額して以降、改正しておらず、県内の同じ人口規模の町の議員の議員報酬額と比較しても低い状況であることから、大槌町議会の議員報酬を増額するもの。  
(全員賛成・原案可決)

※金額は全て税控除前の総支給額

	【改正前】月額	【改正後】月額
議長	249,000円	280,000円
副議長	205,000円	231,000円
議員	192,000円	216,000円

▽大槌町公共施設等総合管理基金条例の制定：公共施設等の計画的な保全、及び更新等に必要経費の財源に充てるため制定するもの。  
(全員賛成・原案可決)

▽大槌町手数料条例の一部を改正する条例の制定：コンビニエンスストアに設置された多機能端末機による各種証明書の交付を開始することに伴い、所要の改正をするもの。  
(全員賛成・原案可決)

▽大槌町印鑑条例の一部を改正する条例の制定：印鑑登録証明書の多機能端末機による交付を開始するにあたり、マイナンバーカードによる申請を可能にするために、所要の改正をするもの。  
(全員賛成・原案可決)



大ケロ川の現況

## ◎契約の締結

▽工事請負契約の締結：大槌町吉里吉里海岸海水浴場関連施設建設工事において、指名競争入札により、株式会社上野工務店と5千646万3千円で工事請負契約を締結するものです。  
(全員賛成・原案可決)

▽工事請負契約の締結：準用河川大ケロ川河川改修工事において、指名競争入札により、有限会社小松組と1億2千221万円で工事請負契約を締結するものです。  
(全員賛成・原案可決)

## ◎補正予算

▽令和4年度大槌町一般会計補正予算(第3号)を定めること：今年度の人事異動に伴う人件費、新型コロナウイルスウイルス感染症対応地方創生臨時交付金等の計上などにより補正し、歳入歳出予算に16億6千497万2千円を追加し、予算の総額を108億2千646万3千円とするもの。  
(全員賛成・原案可決)

▽令和4年度大槌町一般会計補正予算(第4号)を定めること：オミクロン株対応ワークチン等の接種に係る経費の計上に伴う増額補正により、歳入歳出予算に2千833万円を追加し、予算の総額を108億5千479万3千円とするもの。  
(全員賛成・原案可決)

## 報告

▽健全化判断比率の状況の報告：令和3年度決算は各会計とも赤字及び資金不足はなく、実質赤字比率、連結実質赤字比率、将来負担比率は生じていない。実質公債費比率は12.7%である。

## ◎計画の策定

▽「第3期大槌町地域福祉推進計画」の策定に係る報告：住民ひとりひとりが、積極的に地域づくりに関わり、地域住民と地域を支える団体や事業者、行政が協働しながら、誰もが安心して暮らせる地域づくりを進めるための指針として策定したものを。

## ◎計画の修正

▽「大槌町地域防災計画」の修正に係る報告：令和4年3月に修正された「岩手県地域防災計画」との整合を

図ることを目的として修正した「大槌町地域防災計画」について、条例に基づき報告するもの。

## 認定

### ◎決算認定

▽令和3年度大槌町一般会計歳入歳出決算ほか決算5件は、全て原案のとおり認定されました。

- ① 一般会計歳入歳出決算
- ② 国民健康保険特別会計歳入歳出決算
- ③ 介護保険特別会計歳入歳出決算
- ④ 後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算
- ⑤ 水道事業会計決算
- ⑥ 下水道事業会計決算



## 議会の動き

8日	令和4年度岩手県への要望(金石市)
19日	議会全員協議会 合同常任委員会
23日	令和4年度漁港検診第60回回覧会を囲む懇談会(盛岡市)
26日	議会運営委員会
(9月)	
1日	9月定例会(14日)
18日	議会報編集特別委員会 小鏡神社例大祭
22日	大槌稲荷神社例大祭 臨時総会(盛岡市)
28日	岩手県町村議会議長会第2回政務調査会(盛岡市)
(10月)	
11日	大槌高校総合的な探究の時間「SIMUlation」おおつち2030」議員によるテーマ説明会
16日	第24回おおつち産業まつり
17日	東部町村議会議長会先進地視察研修 (19日・三重県)
21日	岩手県沿岸知的障害児施設組合議会10月定例会
24日	岩手県町村議会議長会第8回委員長研修会(盛岡市)
28日	合同常任委員会 金石大槌地区行政事務組合10月定例会 議会運営委員会
28日	令和4年第4回臨時議会

## 令和 4 年 9 月定例会 審議結果等一覧

議案番号等	議 案 等	審議結果	
報告第 5 号	損害賠償額の専決処分の報告 公用車車両事故に係る損害賠償事件について専決処分するもの。	—	
報告第 6 号	損害賠償額の専決処分の報告 公用車車両事故に係る損害賠償事件について専決処分するもの。		
報告第 7 号	「第 3 期大槌町地域福祉推進計画」の策定に係る報告 住民ひとりひとりが、積極的に地域づくりに関わり、地域住民と地域を支える団体や事業者、行政が協働しながら、誰もが安心して暮らせる地域づくりを進めるための指針として策定したもの。		
報告第 8 号	「大槌町地域防災計画」の修正に係る報告 令和 4 年 3 月に修正された「岩手県地域防災計画」との整合を図ることを目的として修正した「大槌町地域防災計画」について、条例に基づき報告するもの。		
報告第 9 号	「大槌町公共施設等総合管理計画」の変更に係る報告 復興事業による公共施設整備の進捗や個別施設計画の策定状況を踏まえ、将来にわたる持続可能な行政サービスの提供と将来世代に負担をかけない公共施設を目指すため改定した「大槌町公共施設等総合管理計画」について、条例に基づき報告するもの。		
報告第 10 号	健全化判断比率の状況の報告 令和 3 年度決算は各会計とも赤字及び資金不足はなく、実質赤字比率、連結実質赤字比率、将来負担比率は生じていない。実質公債費比率は 12.7%であると報告するもの。		
議案第 38 号	福幸きらり商店街跡地多目的広場等設置条例の制定 福幸きらり商店街跡地活用事業検討委員会が示した検討結果の報告の提案を踏まえ、短期的な取組を行うため条例を制定するもの。		可決 (全員賛成)
議案第 39 号	大槌町斎場建設基金条例を廃止する条例 斎場建設事業の完了に伴い、斎場建設基金条例を廃止するもの。		
議案第 40 号	大槌町公共施設等総合管理基金条例の制定 公共施設等の計画的な保全、及び更新等に必要な経費の財源に充てるため制定するもの。		
議案第 41 号	大槌町議会の議員の議員報酬等に関する条例の一部を改正する条例 大槌町議会の議員の議員報酬額は、平成 18 年に減額して以降、改正しておらず、県内の同じ人口規模の町の議員の議員報酬額と比較しても低い状況であることから、大槌町議会の議員の議員報酬を増額するもの。		
議案第 42 号	大槌町手数料条例の一部を改正する条例 コンビニエンスストアに設置された多機能端末機による各種証明書 <sup>*1</sup> の交付を開始することに伴い、所要の改正をするもの。 (※1 一部の証明書は、多機能端末機では交付できません。)		

# 9月定例会審議結果一覧

## 令和4年9月定例会 審議結果等一覧

議案番号等	議案等	審議結果
議案第43号	大槌町総合開発審議会条例の一部を改正する条例 現在の計画との名称の整合性を図るため、所要の改正をするもの。	可決 (全員賛成)
議案第44号	大槌町印鑑条例の一部を改正する条例 印鑑登録証明書の多機能端末機による交付を開始するにあたり、マイナンバーカードによる申請を可能にするために、所要の改正をするもの。	
議案第45号	令和4年度大槌町一般会計補正予算(第3号)を定めること 今年度の人事異動に伴う人件費、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金等の計上などにより補正し、歳入歳出予算に16億6,497万2千円を追加し、予算の総額を108億2,646万3千円とするもの。	
議案第46号	令和4年度大槌町国民健康保険特別会計補正予算(第1号)を定めること 高額療養費保険者負担金等により補正し、歳入歳出予算に3,563万円を追加し、予算の総額を15億3,313万5千円とするもの。	
議案第47号	令和4年度大槌町介護保険特別会計補正予算(第1号)を定めること 介護給付費準備基金積立金、国庫支出金等過年度分返還金等により補正し、歳入歳出予算に6,681万円を追加し、予算の総額を16億7,541万8千円とするもの。	
議案第48号	令和4年度大槌町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)を定めること 後期高齢者医療広域連合納付金等により補正し、歳入歳出予算に49万2千円を追加し、予算の総額を1億4,115万9千円とするもの。	
認定第1号	令和3年度大槌町一般会計歳入歳出決算の認定	認定 (全員賛成)
認定第2号	令和3年度大槌町国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定	
認定第3号	令和3年度大槌町介護保険特別会計歳入歳出決算の認定	
認定第4号	令和3年度大槌町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定	
認定第5号	令和3年度大槌町水道事業会計決算の認定	
認定第6号	令和3年度大槌町下水道事業会計決算の認定	
議案第49号	工事請負契約の締結 準用河川大ヶ口川河川改修工事において、指名競争入札により、有限会社小松組と1億2,221万円で工事請負契約を締結するもの。	可決 (全員賛成)
議案第50号	工事請負契約の締結 大槌町吉里吉里海岸海水浴場関連施設建設工事において、指名競争入札により、株式会社上野工務店と5,646万3千円で工事請負契約を締結するもの。	
議案第51号	令和4年度大槌町一般会計補正予算(第4号)を定めること オミクロン株対応ワクチン等の接種に係る経費の計上に伴う増額補正により、歳入歳出予算に2,833万円を追加し、予算の総額を108億5,479万3千円とするもの。	

# 令和3年度の町のお金はどう使われたか？ 令和3年度会計決算を審議

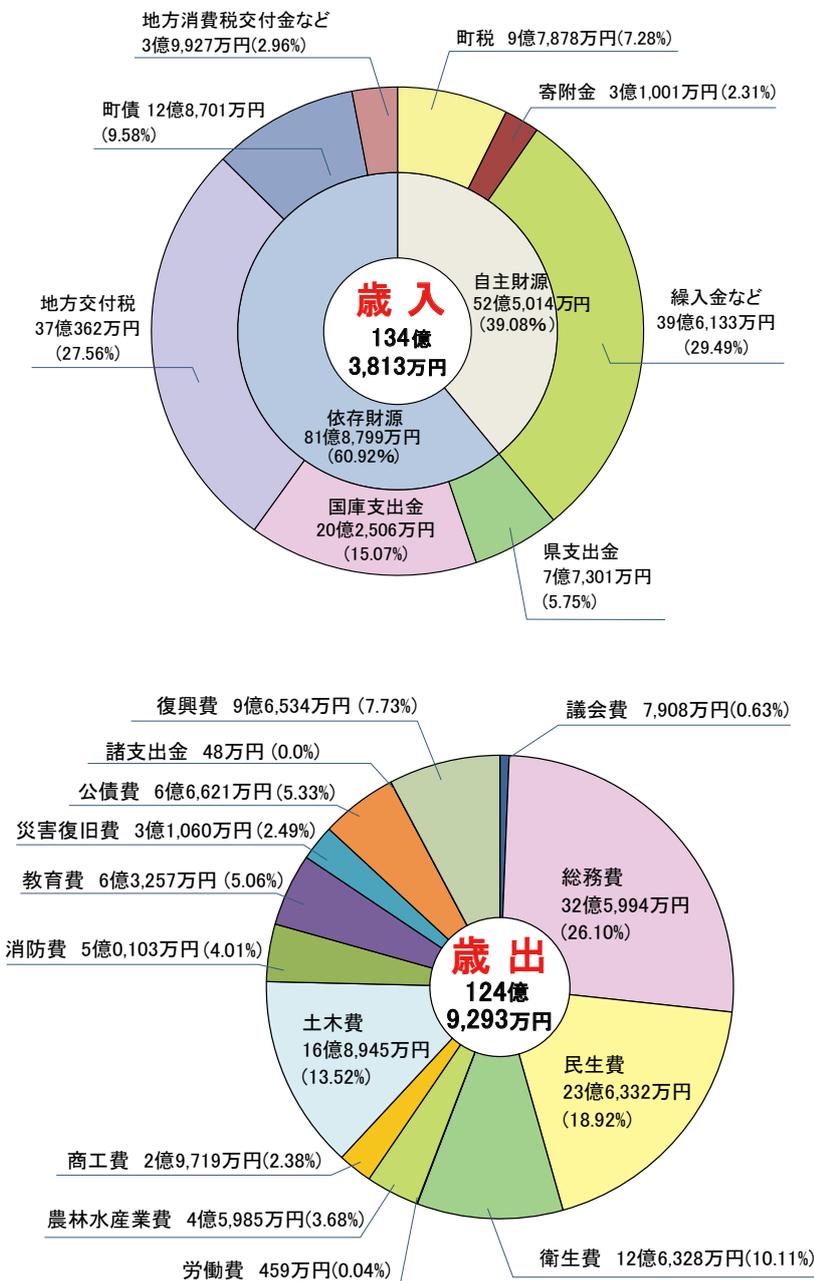
決算特別委員会は、9月8日から13日までの日程で開催されました。

委員長には金崎悟朗議員、副委員長には菊池忠彦議員を選出し、本会議で付託された令和3年度一般会計歳入歳出決算など6会計について審査しました。

決算特別委員会での審査終了後、本会議を再開し、令和3年度の一般会計歳入歳出決算など6会計の決算は、いずれも原案のとおり認定となりました。以下、質疑の一部を紹介します。

## 《一般会計決算の内訳》

(参考) 令和3年度大槌町歳入歳出決算書



## 令和3年度一般会計決算の概要

令和3年度一般会計の決算総額は、歳入が134億3千813万8千882円(前年度203億5千483万1千577円に対し、69億1千669万2千695円、34.0%の減)、歳出は、124億9千293万720円(前年度189億4千958万8千597円に対し、64億5千665万7千877円、34.1%の減)で、歳入歳出差引額(形式収支)は、9億4千520万8千162円となっています。この形式収支の額から、翌年度に繰り越すべき財源1億3千437万9千円を差し引いた実質収支は、8億1千82万9千162円の黒字となり、前年度の実質収

支7億9千466万3千980円を差し引いた単年度収支は、1千616万5千182円の黒字となりました。この単年度収支に財政調整基金積立金4億4千678万6千92円を加え、財政調整基金積立金取崩額3億273万円を差し引いた実質単年度収支では、1億6千22万1千254円の黒字となっています。歳出の主な内訳としては、2款総務費が32億5千993万9千337円、3款民生費が23億6千331万8千825円となっており、総務費と民生費で全体の45%を占めています。

## 主な質疑

### 歳入

◎質疑：住宅使用料の収入未済額が昨年と比べて増えている。コロナ禍による様々な要因により未納につながっていると思うが、収納率を高めるために、どのような対応を取っているのか伺う。

◎答弁：指定管理者である住宅管理センターと共同で、入居者の状況を見聞きしながら対応している。コロナ禍により、対面ではなく、電話や文書等での対応が中心となっている。

### 総務費

◎質疑：地域おこし協力隊を引き受ける事業所があれば、経費として一人当たり110万円ほど事務局に入るが、直接、引き受ける事業所に経

費が入るべきと考えるが、改めて見解を伺う。

◎答弁：令和4年度に関しては8万円ほど下げ、一人当たり102万円ほどとしている。今後、事務局を引き受けていた多く事業者とともに検討していく。

### 民生費

◎質疑：新型コロナウイルス感染症に係る事業者への対策について、今後の方向性についての見解を伺う。

◎答弁：先日、国のコロナ交付金の増額ということが報道されたが、町としても物価高騰や電気料金の値上げなどに関連した部分に対し、重点的に対策を講じていく。

### 農林水産業費

◎質疑：現在、スマートフォンで遠隔監

視できる熊の罾は2台しかない。今後、罾を増やす計画や罾を取扱う資格取得計画等はあるか。

◎答弁：熊を捕獲した後の処分方法も含め検討を進めている。罾については今後の状況を見ながら1台ずつ増やしていければと考えている。猟友会のハンターの方々の高齢化が進んでいるため、10年20年先を見据えた人材育成に取り組んでいく。

◎質疑：県農業共済組合では、当町を含む東南部地域センター及び北部地域センター管内9市町における令和6年4月以降の家畜診療を対象外とすることを決定したが、この獣医療提供体制の問題について、今後どのような対応を取っていくのか伺う。

◎答弁：関係団体と協議を進めている。近隣市町村に点在する獣医師の情報収集や意向確認調査を行っている。今後の畜産体制等について、畜産農家の方々と協議を進めながら、なるべく早く対策を講じていきたい。

### 商工費

◎質疑：修学旅行生を対象とした教育プログラムにおける、三陸ジオパークと教育分野との連携について見解を伺う。

◎答弁：ジオサイトの関連を含め、教育旅行のメニューの中に、当町が誇る豊かな湧水やイトヨを組み入れてもらうよう関係団体と協議を進めていく。

### 土木費

◎質疑：街路灯維持管理業務について、当初予算額から増額となった差額分約5

70万円の内容について伺う。

◎答弁：合計85件の灯具交換・撤去・新設を行ったが、うち43件は灯具のLED化を行ったためである。

### 防災費

◎質疑：避難階段等に蓄光塗料を塗って避難の際の安全確保を図るとのことだが、昨年議論になった大槌稲荷神社の参道の補修についてはどうなったのか。民間であれ公であれ、避難に関する安全対策は積極的に進めるべきと考えるが、当局の見解は。

◎答弁：防災マップ作成に伴う避難所・避難場所の見直しを終了したので、改めて検討したいと考えている。

### 教育費

◎質疑：町営野球場及び町営サッカー場

の管理体制について伺う。

◎答弁：大槌町シルバー人材センターと施設管理業務委託契約を締結し、鍵の開閉やトイレ清掃等を行っている。また、施設を利用するスポーツ少年団の父兄の方々にトイレ清掃等についてご協力いただいている。

◎質疑：給食費の賄材料費のうち、町内からの調達分はどのくらいか。

◎答弁：25.6%となっている。原材料費の高騰で厳しい状況であるが、引き続き町内業者からの購入を積極的に進めていく。



大槌サーモンを使用した給食

# ～町政を問う～

## 一般質問に6議員が登壇

令和4年9月定例会の一般質問は9月6日～7日に行われ、6議員が登壇し、活発な議論が展開されました。大槌町では、一人60分以内の制限時間で質問を行いますが、本紙面の都合により要約していますので、ぜひ議場に足を運んでいただき傍聴をお願いします。9月定例会の会議録は、11月下旬(予定)に町のホームページに掲載します。

1 澤山美恵子議員	①復興事業で生じた空き地活用について ②地方創生に関する取り組みについて	P9
2 菊池忠彦議員	①行政のデジタル化推進施策について ②三陸鉄道の今後のあり方について ③町道高森線の道路拡張について	P10
3 阿部三平議員	①生活環境整備について ②津波・豪雨時の防災対策について ③土坂峠トンネル化について	P11
4 臼澤良一議員	①平野町長の公約の達成状況について ②条例等交付手続きの不備問題に係る第三者委員会の設置について ③過疎、高齢化対策について	P12
5 阿部俊作議員	①斎場の運営について ②防災について ③コロナウイルス対策について	P13
6 佐々木慶一議員	①新たな津波浸水想定への対応について ②コミュニティ構築の必要性について	P14

下記QRコード、または、議員の顔写真の下にあるQRコードから、一般質問の録画画像(YouTube)が視聴できますので、ぜひご利用ください。



大槌町議会チャンネル  
QRコード



YouTubeに配信している画像イメージ

# 海面養殖の町内における経済効果は

## 概算で約2億円、水揚量の約2割を町内に納入



澤山 美恵子 議員



大槌町地域産業イノベーション事業について

【問】日本水産や地元関係者などが協同で行うギンザケやトラウトサーモンの海面養殖について、町内における経済効果は。

【答】（平野町長）

今期は概算で約2億円と推計している。本年度の水揚量約350トンのうち、約2割が大槌魚市場を通じて町内水産加工業者に納入されている。

【問】水揚量の2割というのは事前に取り決めた割合なのか。

【答】（岡本産業振興課長）決まっている。町内水産加工業者の注文数に

よって変動する。

【問】町内関係者から「魚が地元に出回らない」という声を聞いたが、現状は。

【答】（岡本産業振興課長）なるべく町を経由してほしいと要望している。買い受ける町内事業者の数量や金額的な部分もあると思うので、引き続き調整したい。

【問】この事業の目的は、水産大手だけがもうけるためではなく、町内の6次産業化を進めるためだったはず。それを実現するための、十分な量の魚が町内に出回るべきだ。町内関係者からは「日本



岩手大槌サーモンの海面養殖

水産側との話し合いに、役場も入ってほしい」との声も聞かれるが、現状は。

【答】（岡本産業振興課長）来年度は生産数を約700トンに増やし、町内への流通を図りたい。流通量に関しては、町も入って調整したい。

【問】桃畑実証棟での稚魚養殖について、現状や課題は。

【答】（岡本産業振興課長）水揚げの最終目標は、2000トンで、稚魚は200トンほど必要になる。桃畑では最大50トンほど生産できる見込み。

不足分については事業計画を練っており、なるべく町内で一貫生産したいと考えている。

大槌シビエソーシャルプロジェクトについて

【問】シカの捕獲や販売、ハンター育成などを行う事業で、実施期間は来年3月までだが、その後は自立できる見込みか。

【答】（平野町長）

自立できると考えている。MOMIJI株式会社は、現在の処理頭数の4倍となる1000頭規模の施設を本年度末に竣工予定である。代表者を含む社員3名、パート1名に加え、地域おこし協力隊5名、ソーシャルネイチャーワークス株式会社2名の計11名で取り組んでいる。

大学発ベンチャー企業との協業について

【問】町方地区の土地区画整理区域で、全国の大学発ベンチャー企業が11月をめどに実証実験に入る

というが、その内容は。

【答】（平野町長）

復興庁の土地活用ハンズオン支援事業を活用し、予算は750万円程。取り組み期間は来年2月まで。当町でのビジネス展開の可能性を検討・調査する。

【問】「若者に魅力的な仕事や活動の場の創出を目指す」とあるが、その内容は。

【答】（岡本産業振興課長）地域おこし協力隊20名が任期終了後も活動できるような事業を見つけ、町内の若者にも新たなビジネス形態を学んでほしい。

【問】まちづくりを町外出身者に頼る一方で、肝心の地元町民が参加しないとなれば残念な話になる。町内外の関係性やバランスが大事だと考えるが。

【答】（岡本産業振興課長）町民が参加し、興味を持ってもらえるようPRしたい。



菊池 忠彦 議員



# 行政のデジタル化に向けた取り組みは

## デジタル化推進に必要な体制を強化していく

行政のデジタル化推進  
施策について

【問】第9次大槌町総合計画の中で、デジタル施策の方向性としてICTの活用による業務の効率化を推進しているが、これまでの成果・課題を伺う。

【答】（平野町長）  
昨年度、戸籍システムをクラウドに移行し、システム運用にかかっていた職員の業務効率化を図ると共に、クラウド化により庁舎被災時のデータ消失等のリスクを低減することができた。一方で、町民の皆さまがデジタル化の恩恵を実感できるような取り組みは、十分に

はないと認識している。

【問】行政のデジタル化にマイナンバーカードは必須だが、発行・交付体制を強化するために、町はどのような取り組みを行っているのか伺う。

【答】（平野町長）

町民課に担当職員を配置し、来庁者にスムーズにカード交付ができるよう体制を整えている。また、マイナンバーカード申請支援会を開催し、申請書の作成支援とカード取得者に対し、ポイント付与の支援を行う予定である。

【問】国の「自治体DX推進計画」に対し、町は

今後どのように追随し、施策を展開していくのか伺う。

【答】（平野町長）

デジタル化推進に必要な体制を強化し、国が示す重点取組事項を中心に着実に行政のデジタル化を進め、将来的には地域社会のデジタル化に結び付けられるように取り組んでいく。

三陸鉄道の今後のあり方について

【問】三陸鉄道は、利用者の減少と新型コロナウイルスの影響で、3年度の業績は県と自治体の補助金交付を受けても大幅な赤字となった。今後あり方自体

を問われることは必ずだが、三鉄を地域の足としてどのように存続させ、当町のまちづくりに活かしていくのか。

【答】（平野町長）

県及び沿線市町村で構成する岩手県三陸鉄道強化促進協議会等で、必要な支援を検討、実施しつつ、三陸鉄道開催のイベント列車等を通して、町民の方々のマイルール意識の醸成に取り組んでいく。

【問】利用促進のために町が独自の観光列車を企画し、三陸鉄道と連携して開催するような施策も必要ではないか。

【答】（岡本産業振興課長）

現在まで町内の団体等と連携して、5事業ほど展開している。公共交通ではあるが、観光コンテンツを乗せ、沿線市町村と連携を取りながら観光ツールの側面を活用して、今後も利用促進に取り組んでいく。

町道高森線の道路拡張について

【問】今年度の予算に「町道高森団地線測量設計業務委託料」が計上されているが、道路拡張工事計画の進捗状況、併せて町内の急勾配道路の課題解決へ向けての取り組みを伺う。

【答】（平野町長）

町道高森団地線の道路改良事業の進捗状況は、測量設計に必要な作業工程などの精査が完了し、発注に向けて取り組んでいる。町内の急勾配道路の課題に関しては、安全な通行を確保するため、ハード対策とソフト対策の両面から長期的な視点で検討していく。



急勾配な町道高森線

# 地域で残されている課題や環境整備は

## 必要性・有効性等を総合的に判断していく



阿部 三平 議員



### 生活環境整備について

【問】寺野地区私道への側溝及び未改修排水路の整備の方向性は。

【答】（平野町長）

緊急的な場合は町ができる範囲で対応する。排水路は寺野沢川の河床と高低差が小さく、雨量によつては排水量の低下が考えられることから、寺野沢川の堆積物除去などを検討していく。

【問】花輪田集会所山裾からの土砂流出解消への対応は。

【答】（平野町長）

県指定の土砂災害特別警戒区域の沢であり、砂防堰堤などの抜本的な土

石流対策を行わない限り、土砂流入を止める方策がないため、県に対して治山事業要望を継続していく。

【問】花輪田地区への公共下水道整備は。

【答】（平野町長）

花輪田、下寺野地区等は事業認可区域外であり、合併浄化槽施設整備補助を進めているが、総合的に判断しながら取り組んで行く。

津波・豪雨時の防災対応について

【問】日本海溝・千島周辺海溝型地震津波等への避難対策は。

【答】（平野町長）

【問】新山高原落葉樹林伐採で廃棄物流出が起きないか。

【答】（平野町長）

最終処分場は当該採による土砂災害の影響を



新山高原落葉樹林伐採跡地

【問】旧小鎚小学校跡地の活用は。

【答】（平野町長）

施設は老朽化のため解体撤去の方針。住民の意見を聞きながら公共施設の配置と併せて検討していく。

受けない場所であり、廃棄物流出の懸念はない。

### 土坂峠トンネル化について

【問】冬場は特に難儀する土坂峠越えルートについて、一刻も早くトンネル化の目途が付けばと願うものであるが、命の道土坂峠の現況は。

【答】（平野町長）

大槌山田紫波線道路整備促進期成同盟会として、また町単独でも要望を実施している。県からの回答は厳しいものであるが、早期実現に向けて粘り強く取り組んで行く。



土坂峠頂上付近



白澤良一 議員



# 震災事業の達成度について

## (仮称)鎮魂の森整備事業は

### 本年度中に工事着手予定

平野町長の公約の達成状況について

【問】震災伝承事業は多くの町民の関心事だが、この事業の達成度を伺う。

【答】(平野町長) ハード・ソフト両事業の取り組みを進めてきた。(仮称)鎮魂の森整備事業は現在、事業費ベースで約10%の進捗率。本年度

中に工事着手の予定で、令和5年度中の完成を目指している。

今後は、震災伝承としてメッセージ性のあるモニュメント等の整備を進める。

【問】町方地区には空き地が目立つが、まちづくりの再生は思うように進んでいないのではないかと。現在までの支援制度による成果及び将来を見据えた持続可能なまちづくりの施策を伺う。

【答】(平野町長) 地域活性化を図るため、「空地バンク制度」「住宅建設補助制度」「宅地取得補助制度」を実施した。この制度により住宅、店舗、事業所などの建設が

行われ、一定の土地活用が図られた。引き続き、多岐に渡る土地活用策を図っていく。

条例等交付手続きの不備問題に係る第三者委員会の設置について

【問】未公布問題で6項目の対応を示していたが、対応状況並びに達成状況について伺う。

【答】(平野町長) 対応状況は次の通り。

- ①利益、不利益の数字的な分析を行い、選択肢を定めていく。
- ②第三者委員会にむけた準備を進めている。
- ③法制業務に精通する業者に第三者委員会の事務



空き地が目立つ中心市街地

制定され、予算措置もされている。

【問】過疎地集落維持についての所見を伺う。

【答】(平野町長) 9月24日(土)に第1回第三者委員会を開催する。今後は、委員会で利益、不利益の分析や町が取るべき選択肢が示されるものと考えている。

【問】過疎地集落維持について

【答】(平野町長) 過疎、高齢化対策について

集落は町民にとって大切な故郷である。国、県と連携しながら人々が安心して暮らせる環境を整え、持続的な集落の活性化の実現に努めていく。

【問】町民はどこに住んでも公共サービスを等しく受ける権利がある。山間地域で暮らす町民にも幸せを感じ、希望を持つてもらえるような地域づくりが必要だと思いが。

【答】(平野町長) 町民との協働による地域づくりに取り組んでいる。ライフステージに応じた健康的な生活習慣づくりや介護予防に取り組んでいる。

【問】職員の不祥事に係る第三者委員会設置条例が



「(仮称)鎮魂の森」建設予定地

【問】職員の不祥事に係る第三者委員会設置条例が

【問】職員の不祥事に係る第三者委員会設置条例が

【問】職員の不祥事に係る第三者委員会設置条例が

# 自然学に震災遺構を

## 旧民宿あかぶ跡地等は学びの場所



阿部 俊作 議員



斎場運営について

【問】 約一年間の斎場運営状況について、利用状況や故障、トラブル、利用者からの声について伺う。

【答】（平野町長）

昨年十一月から本年七月までの利用状況は百三十六件で不具合は発生していない。斎場維持管理業務受託者との報告・連絡を密にし、異常が発生した場合は速やかに対応できるようにしている。利用者からの問題報告はない。

おおつち斎苑が利用できなくなった場合、旧火葬場の時と同じく町外火葬場利用者に補助金を交

付する。

【問】 町外の方の使用料

が近隣市町と比べて高いのではないか。療養等でもむなく町外に移動した方もおり、少なくとも近隣市町との格差をなくすべきと思うが。

【答】（太田企画財政課長）

料金の根拠はご遺体一体の火葬に約八万円の経費がかかるので、町外利用者はそのように設定している。

### 防災について

【問】 地球温暖化によるとされる大規模災害が多発している。地球を学び、環境を人工から自然力を利用する方向に転換して



旧民宿あかぶ跡地

いかなければならない。

自然を学び、震災津波を学ぶには、震災遺構は欠かせない。どう考えるか。

【答】（平野町長）

津波を学ぶ上で大切なことは、日常生活を通し、単に伝えるだけでなく、そこから何を感じ、学べるかに尽きる。そのため

町は、大槌町全体を震災伝承館と位置づけ、現地で直接震災の爪痕を学ぶことが出来る環境づくり

を目指している。

旧民宿あかぶ・旧役場庁舎跡地は確実に震災の教訓と防災の必要性を伝えていく価値ある震災伝承の場所であり、町外からの学びに出来る場所である。

【問】 ハザードマップを基にした避難のありかた、避難所の考えを伺う。

【答】（平野町長）  
地震・津波における避

難は近くの高いところへ逃げることを主眼とし、地域の高台を避難場所に指定した。

### コロナウイルス対策について

【問】 子ども達へのワクチン接種と副反応の説明はされているか。

【答】（平野町長）

五歳から十一歳まで全員にワクチン接種券と厚生労働省作成のパンフレット・医大、医師会、県が共同作成したワクチン説明書も送付している。パンフレットや説明書には副反応の説明と予防接種健康被害救済制度について言及している。

【問】 検査キットについて当局の考えを伺う。

【答】（平野町長）

市販される検査キットは、医療用抗原検査キットと研究用抗原検査キットがあり、医療用検査キットを選ぶよう注意を促している。



佐々木 慶一 議員



地震時、防潮堤破壊なければ津波被害はないか

満潮時発災・地盤沈下で影響出る

新たな津波浸水想定への対応について

【問】復興計画における想定津波影響と、岩手県が令和4年3月29日に公表した新たな津波浸水想定の違いは。

【答】（平野町長）

復興まちづくりに用いた津波浸水想定の設定条件は、①干潮時に津波が発生し、②地盤沈下が無く、③防潮堤の破壊が無いものとし、低地部が浸水ポケットになることを前提としている。今回は、①満潮時に、②地盤沈下がおこり、③津波が防潮堤を越えた時点で防潮堤が破壊した、という前提である。



9月に完成した防災ハザードマップ



「縮尺の見直し、災害別記載」を改定

【問】現状の防潮堤は震災前の防潮堤と比較して、はるかに強靱な構造となっている。津波が防潮堤を越えたくらいで破壊するののか。

【答】（島村防災・協働地域づくり担当参与）

実際に破壊するか否かではなく、最悪の状況

想定して破壊する前提でシミュレーションしたということである。

【問】防潮堤が破壊しない場合、住宅地への浸水はないか。

【答】（島村防災・協働地域づくり担当参与）

防潮堤の破壊が無くて

も、満潮時の津波発生の可能性があるほか、東日本大震災の実績から地盤沈下も起こり得る。その際は、低地部の浸水ポケットでは押えきれず、住宅地の浸水も起こり得る。

コミュニティ構築の必要性について

【問】震災からのハードの復興はほぼ完了し、今後は生業の創出とともにコミュニティの構築が重要な課題となってくる。震災後、「コミュニティ総合支援室」として新たな自治会づくりに尽力した結果一定の成果はあったが、役員のみならず手不足に伴う自治会の存続の危機が迫っている。現在の「協働地域づくり推進課」として、深く関わっていくべきでないか。

【答】（平野町長）

「大槌町協働地域づくり推進指針」を策定し、

で周知していく。

各種団体が一堂に会し、相互の課題解決に向けた取り組みを模索する場として「コミュニティ協議会」を継続的に開催し、関係団体の連携強化を図っていく。

【問】そのような取り組みを進める際、担当職員の業務負担の問題は無いのか。

【答】（平野町長）担当職員には対応の業務負担はかかる。また人員体制の確保が必要であり、課題である。担当部署の体制確保にも努めていく。

【問】一部の住民は、現在の防潮堤で安心感を抱いている。防潮堤が破壊しなくても、満潮影響、地盤沈下影響で住宅地への被害が発生する可能性が高いことを知らせるべきでは。

【答】（島村防災・協働地域づくり担当参与）

9月から11月にかけて各地域で行う、「防災ハザードマップ」の説明会

「大槌町協働地域づくり推進指針」を策定し、

# 委員会活動報告

## 大槌高校 総合的な探究の時間「SIMulation おおつち 2030」

### テーマ説明会出席

去る、10月11日、総務教民、産業建設の両常任委員長及び副委員長が、大槌高校で開催された、総合的な探究の時間「SIMulation おおつち 2030」テーマ説明会に出席し講義をしました。

「SIMulation おおつち 2030」とは、大槌高校が町と協働して行っている高校魅力化推進事業の一環として毎年実施しているもので、2030年の大槌町の姿を想像し、解決すべき様々な地域課題に対して、高校生ができることを構想する取り組みです。

昨年に引き続き、大槌町議会が6つのテーマを提案し、テーマごとにグループワークを行いました。生徒たちは熱心に聞き入り、活発な意見が交わされました。

今回は、町行政の取組や課題について理解を深め、大槌町の地域課題をより深く検討することを目的に、役場及び町内の事業所等でフィールドワークが行われる予定です。

今年度のテーマは次のとおりです。

#### 総務教民常任委員会

- ①大槌の資源を活かし、地域経済の好循環を図るための施策を考えよ
- ②地域食堂（子ども食堂）を通じた食育（健康）の推進に関する施策を考えよ
- ③ふるさと納税を活用した町民サービス向上施策を考えよ

#### 産業建設常任委員会

- ①郷土芸能を活用した、交流人口拡大のための施策を考えよ
- ②三陸鉄道の利用者数増加に向けた施策を考えよ
- ③震災の体験を風化させず、次世代に継承するための施策を考えよ



総務教民常任委員長（芳賀潤議員）



産業建設常任委員長（菊池忠彦議員）



総務教民常任副委員長（阿部俊作議員）



産業建設常任副委員長（澤山美恵子議員）





# 表紙写真の紹介



Q 本号の表紙の写真は、小鎧（中村）地区で撮影した稲刈りの様子です。撮影に御協力いただいた東梅さんのお宅では、現在ではあまり見られなくなつた「はせ掛け」をしておりました。東梅さんにお話を伺いました。

Q はせ掛けをする農家さんが少なくなつてきましたか。

A そうですね。コンバインが主流となりましたが、はせ掛けしたお米は、とても美味しいので、こだわっています。また、ワラを牛の餌として利用しています。

Q はせ掛けは大変ではないですか。

A 人手が必要なので大変ですね。特に台風シーズンは、強風で、はせが転ばないか心配です。



Q 町や議会に望むことはありますか。

A 私たちの「食」を支える、農家の高齢化対策や後継者の育成など、農業施策に力を入れてほしいですね。

昔ながらの「はせ掛け」の風景も、いつまでも残っていてほしいと思います。

東梅さん、取材を快くお引き受けいただき、本当にありがとうございます。

## 定例会 議員出欠表

決算特別委員会（4日間）を含みます

議席番号	議員氏名	9月定例会	
		9/1～9/14	
		出席	欠席
1	菊池 忠彦	8	0
2	白澤 良一	8	0
3	佐々木慶一	8	0
5	澤山美恵子	8	0
6	阿部 三平	8	0
7	東梅 守	8	0
8	阿部 俊作	8	0
9	東梅 康悦	8	0
10	欠員	—	—
11	金崎 悟朗	8	0
12	阿部 義正	2	6
13	芳賀 潤	8	0
14	小松 則明	8	0

## 町議会を傍聴してみませんか

町議会定例会は、3月、6月、9月、12月の年4回、役場3階の議場で開かれます。

町で今何が課題となっているかなど、議場での議員の活動を実際に見て、知っていただく機会です。傍聴の手続きは簡単ですので、ぜひ傍聴にいらしてください。

また、定例会の様子は「おおちゃんねる」、「YouTube」でも視聴いただけます。

● 12月定例会は12月2日（金）開会予定です（予定は変更される場合があります）

## 編集後記

▼買った物で出たお釣りを小さな空き缶に入れ、いっぱいになったら大きめの空き缶にジャラジャラと移し替えます。この音、快感。

銀行に預けて、引き出して使い、また貯める。増えないけれど循環できていました。ところが、今年から硬貨で預け入れや振り込みをする際、枚数に応じた手数料がかかるようになりました。

生活費の多くが値上がりとなり、わずかな楽しみも消えそうです。この仕組みを変えるのは、国民のみなさんです。

国の政治にも関心を持ちましょう。

（阿部俊作）

### 議会報編集特別委員会

- 委員長 阿部 俊作
- 委員 菊池 忠彦
- 委員 東梅 康悦
- 委員 阿部 三平
- 委員 澤山美恵子
- 委員 白澤 良一